



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 日本化学産業株式会社

コード番号 4094 URL <http://www.nihonkagakusangyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳澤英二

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 百瀬 譲

TEL 03-3873-9223

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	13,412	△16.2	1,299	△25.0	1,412	△23.4	1,181	15.7
24年3月期第3四半期	16,004	△17.0	1,734	△37.4	1,842	△35.7	1,021	△38.8

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,196百万円 (67.8%) 24年3月期第3四半期 712百万円 (△54.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	59.63	—
24年3月期第3四半期	51.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	29,719	24,574	82.7	1,238.10
24年3月期	28,802	23,659	82.1	1,196.02

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 24,574百万円 24年3月期 23,659百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
25年3月期	—	8.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,070	△13.0	1,560	△20.9	1,680	△21.1	1,400	2.3	70.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ： 有 |
| ④ 修正再表示 | ： 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	20,680,000 株	24年3月期	20,680,000 株
25年3月期3Q	831,225 株	24年3月期	897,814 株
25年3月期3Q	19,807,035 株	24年3月期3Q	19,728,708 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計処理の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）におけるわが国経済は、期初においては東日本大震災からの復興需要および政策効果により緩やかな回復基調にありましたが、その後、政策効果も一巡し、また欧州の債務問題に伴う海外経済の減速や円高基調により輸出の落ち込み、情報技術関連業界の大幅な減産も見られました。その後、第3四半期後半に政権交代による景気回復への期待感から株価回復、円安傾向となる等、幾分、明るい兆しは見えてきたものの、景気の先行きは依然として不透明なままに推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、新製品や新規用途開発品を中心に販売・生産数量の確保、新規ユーザー開拓、タイ海外子会社における大規模洪水からの早期復旧、価格競争力を増すための全社挙げての低コスト体質強化に努めてまいりました。しかしながら当第3四半期連結累計期間の当社グループ全体の売上高の内、主力の薬品事業は、前期に発生した東京電力原子力発電所事故後の納入先の複数購買化の動き、情報技術関連製品の納入先企業の需要減、およびタイの海外子会社においても洪水被害による生産・納入停止の影響が期の前半まで残るとともに、洪水後の納入先の複数購買化、パソコン等の需要減による数量面での減少があり、また、足元で一部回復したものの期を通しての非鉄金属相場下落に伴う納入価格低下による売価面での減少等により、売上高が前年同四半期比大幅な減少となりました。また、建材部門の売上高は住宅ローン減税等を背景に堅調に推移したものの、一部納入先の着工戸数減少もあり、前年同四半期比で若干ながら低下したことから、グループ全体としての売上高は前年同四半期比2,592百万円16.2%減の13,412百万円となりました。

利益面では、薬品部門における更なる安価原料、リサイクル原料の活用拡大等低コスト体質の強化に努めましたが、減収および生産数量減に伴う単位当たり固定費負担の増加や、上記の足元での一部回復は見られるものの総じて非鉄金属相場下落に伴う売価低落があり、また、海外子会社も営業損失となるなど、営業利益は前年同四半期比 434 百万円 25.0%減の 1,299 百万円となりました。経常利益は前年同四半期比 430 百万円 23.4%減の 1,412 百万円、四半期純利益は、前年同四半期に計上した原発事故関係の災害損失や投資有価証券評価損等の特別損失が減少し、原発事故に伴う損害補償金 367 百万円およびタイの海外子会社の洪水被害に伴う保険金 113 百万円を特別利益に計上したこともあり、前年同四半期比 160 百万円 15.7%増の 1,181 百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、売上減に伴い売上債権が減少したものの、現金および預金が増加したことから、前連結会計年度末比114百万円増の19,541百万円となりました。また、固定資産は、有形固定資産が海外子会社増資に伴う設備投資を進めたこと等により前連結会計年度末比395百万円増の5,876百万円となり、また投資その他の資産は、投資有価証券および前期に期間満了した従業員に対する福利厚生傷害保険を現状に合わせ再加入したことにより保険積立金が増加し前連結会計年度末比409百万円増の4,278百万円となったことから、全体では前連結会計年度末比802百万円増の10,178百万円となりました。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ、917百万円増の29,719百万円となりました。一方、負債は、流動負債が前連結会計年度末比60百万円増の4,472百万円となり、固定負債は前連結会計年度末比58百万円減の672百万円となりました。また、純資産が利益剰余金の増加により前連結会計年度末比914百万円増となったため24,574百万円となり、自己資本比率は前年度末の82.1%から82.7%になりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月9日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計処理の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第3 四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,513,481	9,344,457
受取手形及び売掛金	6,591,519	5,931,247
商品及び製品	1,082,312	1,097,774
仕掛品	1,004,348	1,007,258
原材料及び貯蔵品	1,933,025	1,859,056
繰延税金資産	198,554	199,695
その他	105,081	103,516
貸倒引当金	△2,040	△1,750
流動資産合計	19,426,282	19,541,255
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	1,707,123	1,824,480
その他（純額）	3,774,212	4,052,356
有形固定資産合計	5,481,336	5,876,836
無形固定資産	25,564	22,522
投資その他の資産		
投資有価証券	1,672,510	1,884,416
その他	2,198,443	2,396,147
貸倒引当金	△1,570	△1,570
投資その他の資産合計	3,869,383	4,278,994
固定資産合計	9,376,283	10,178,353
資産合計	28,802,566	29,719,609
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,388,928	2,070,116
短期借入金	596,496	985,796
未払法人税等	433,841	269,046
賞与引当金	320,000	216,924
役員賞与引当金	25,000	22,500
災害損失引当金	19,709	9,219
その他	627,484	898,463
流動負債合計	4,411,461	4,472,065
固定負債		
繰延税金負債	172,478	160,940
退職給付引当金	313,780	303,959
環境対策引当金	9,532	9,532
資産除去債務	107,930	109,758
その他	127,445	88,498
固定負債合計	731,167	672,690
負債合計	5,142,628	5,144,755

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,034,000	1,034,000
資本剰余金	560,441	569,655
利益剰余金	22,663,235	23,527,567
自己株式	△358,400	△332,020
株主資本合計	23,899,277	24,799,202
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81,547	68,418
為替換算調整勘定	△320,886	△292,766
その他の包括利益累計額合計	△239,339	△224,347
純資産合計	23,659,938	24,574,854
負債純資産合計	28,802,566	29,719,609

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	16,004,394	13,412,263
売上原価	12,656,634	10,427,068
売上総利益	3,347,760	2,985,195
販売費及び一般管理費	1,613,431	1,685,292
営業利益	1,734,328	1,299,902
営業外収益		
受取利息	10,792	11,593
受取配当金	40,287	37,788
不動産賃貸料	24,880	23,122
補助金収入	19,042	39,181
その他	38,994	28,669
営業外収益合計	133,998	140,356
営業外費用		
支払利息	8,500	10,123
売上割引	8,829	9,687
賃貸収入原価	8,292	8,178
その他	44	115
営業外費用合計	25,667	28,105
経常利益	1,842,659	1,412,153
特別利益		
固定資産売却益	210	903
受取保険金	—	113,444
受取補償金	—	367,109
その他	0	—
特別利益合計	210	481,458
特別損失		
固定資産除却損	13,743	6,955
投資有価証券評価損	55,038	—
災害による損失	58,744	10,183
特別損失合計	127,526	17,138
税金等調整前四半期純利益	1,715,343	1,876,473
法人税等	694,281	695,333
少数株主損益調整前四半期純利益	1,021,062	1,181,139
四半期純利益	1,021,062	1,181,139

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,021,062	1,181,139
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△179,933	△13,128
為替換算調整勘定	△128,160	28,119
その他の包括利益合計	△308,093	14,991
四半期包括利益	712,968	1,196,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	712,968	1,196,130
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位千円：千円未満切り捨て)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	13,720,209	2,284,184	16,004,394	—	16,004,394
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,720,209	2,284,184	16,004,394	—	16,004,394
セグメント利益	1,381,274	664,461	2,045,735	△311,407	1,734,328

(注) 1. セグメント利益の調整額△311,407千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社本社での総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位千円：千円未満切り捨て)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	11,156,244	2,256,019	13,412,263	—	13,412,263
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,156,244	2,256,019	13,412,263	—	13,412,263
セグメント利益	969,849	686,419	1,656,269	△356,366	1,299,902

(注) 1. セグメント利益の調整額△356,366千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社本社での総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。